

# 半導体への理解深める

熊本高専熊本キャンパス  
ルネサスが出前講義



熊本高専熊本キャンパスであったルネサスエレクトロニクスによる出前講義=19日、合志市

合志市の熊本高専熊本キャンパスで19日、半導体製造大手ルネサスエレクトロニクスによる出前講義があり、4年生約130人が半導体への理解を深めた。半導体産業の強化のため、同校は独立行政法人国立高等専門学校機構（東京）の人材育成事業の拠点校として出前講義を企画した。

同校を卒業し、ルネサスセミコンダクタマニユファクチュアリング川尻工場（熊本市）に勤める辻田健児PI部長と生産技術部の中村慎吾技師が講義。不良品の要因を調査・解析して製

造プロセスを改善するといった工場の業務を説明した。情報通信エレクトロニクス工学科の池田直樹さんは「半導体製造の前工程や後工程の流れが理解できた。エンジニアの業務内容もイメージできた」と話した。

台湾積体回路製造（TSMC）の菊陽町進出もあって、半導体人材の獲得競争は激化。ルネサスは高専卒の技術者の採用に力を入れている。（山本文子）

TSMC  
インパクト



熊本・九州  
けいざい